
● 目 次 ●

- * トピックス
 - * 全数把握疾患
 - * 警報・注意報
 - * リンク
-

★トピックス★

レジオネラ症について

● レジオネラ症について

<原因と感染経路>

- ・ 代表的な病原体は、レジオネラ・ニューモフィラ (*Legionella pneumophila*) です。レジオネラ属菌は50種類以上(70血清群以上)の菌種があり、自然界の土壌や淡水(川や湖)に広く生息しています。レジオネラ属菌が人工的な水循環設備(循環式浴槽、冷却塔、給湯設備など)中に侵入、繁殖し、それらの施設から発生するレジオネラ属菌を含むエアロゾルを吸入することで感染します(空気感染、飛沫感染)。ヒトからヒトに直接感染することはありません。

<症状>

- ・ レジオネラ症は、レジオネラ属菌による細菌感染症で、その病型にはレジオネラ肺炎とポンティアック熱があります。潜伏期間は2~10日程度です。
- ・ レジオネラ肺炎は、全身倦怠感、頭痛、筋肉痛などの症状に始まり、咳や38℃以上の高熱、寒気、胸痛、呼吸困難が見られるようになります。また、腹痛や下痢等の消化器症状や、意識レベルの低下、幻覚、手足が震えるなどの中枢神経系の症状がみられるのも特徴です。適切な治療がされなかった場合には急速に症状が進行することがあり、命にかかわることもあります。
- ・ ポンティアック熱は、突然の発熱、悪寒、筋肉痛などの症状がみられますが、一過性のもので、自然に治癒します。
- ・ 高齢者や新生児は肺炎を起こす危険性が通常より高いので、注意が必要です。また、大酒家、喫煙者、透析患者、移植患者や免疫機能が低下している人は、レジオネラ肺炎のリスクが高いとされています。

<治療>

- ・レジオネラ肺炎はレジオネラ属菌による細菌感染症なので、マクロライド系、ニューキノロン系やリファンピシン等の抗菌薬で治療することができます。早期診断、早期治療が重要です。
- ・ポンティアック熱は、自然に軽快することが多く、抗菌薬なしでも数日以内に改善します。

<予防>

- ・感染源となる設備(循環式給湯設備、冷却塔、循環式浴槽、加湿器、水景施設(噴水など))の衛生管理に十分注意することが重要です。
- ・超音波振動などの加湿器を使用するときには、毎日水を入れ替えて容器を洗浄しましょう。レジオネラ属菌は60℃では5分間で殺菌されるので、水を加熱して蒸気を発生させるタイプの加湿器は感染源となる可能性は低いとされています。
- ・また、循環式浴槽(追い炊き機能付き風呂・24時間風呂など)を備え付けている場合は、レジオネラ症を予防するため、浴槽内に汚れやバイオフィルム(生物膜。細菌で形成される「ぬめり」)が生じないように定期的に洗浄等を行いましょ。汚れや「ぬめり」を落としてレジオネラ属菌が増殖しやすい環境をなくすことが大切です。
- ・工事現場の砂塵を吸い込んで感染した事例も報告されています。そのような場所や、エアロゾルの発生する高圧洗浄機や腐葉土を取り扱う際には、エアロゾルを吸引しないよう、マスクなどの着用も効果的です。

<発生状況(速報値)>

- ・2026年第23週(12月29日~6月7日)までの全国発生報告数(速報値)は795件(栃木県は19件(うち本市5件))となっています。過去3年間の報告数は2025年の全国発生報告数は2,413件(栃木県48件(本市12件含む))で、2024年は2,419件(栃木県84件(本市27件含む))、2023年は2,271件(栃木県63件(本市13件含む))でした。

<届出について>

感染症法において、レジオネラ症は感染症法の4類感染症に指定されています。診断した場合は、直ちに保健所へ届出をいただきますようお願いいたします。

《届出基準：厚生労働省》

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-04-39.html>

《レジオネラ症とは：国立感染症研究所》

<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/legionellosis/index.htm>

《レジオネラ症：厚生労働省》

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00393.html

○全数把握疾患○

・5月期(4月27日～5月24日の4週間)に市内で発生した全数把握疾患は、次のとおりでした。

1類：なし

2類：結核＝5件

3類：なし

4類：なし

5類：ウイルス性肝炎＝2件

多剤耐性緑膿菌感染症＝1件

梅毒＝6件

百日咳＝2件

◆警報・注意報◆

4月27日～5月24日の国立感染症研究所の感染症発生動向警報システムによる市内の感染症警報・注意報は、次のとおりです。

18週 警報：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(県南)
流行性角結膜炎(県東)

注意報：なし

19週 警報：流行性角結膜炎(県東)

注意報：水痘(県西、県北)

20週 警報：流行性角結膜炎(県東)

注意報：なし

21週 警報：なし

注意報：水痘(安足)

警報・注意報の解説(栃木県感染症情報センター)

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/e60/tidc/haseidoko.html>

★リンク★

○令和8年度感染症発生状況(宇都宮市)

<https://www.city.utsunomiya.lg.jp/kenko/iryo/kansensho/1004513.html>

○栃木県感染症情報センター(県内の状況)

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/e60/tidctop.html>

○国立感染症研究所感染症情報センター(全国の状況)

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>

○感染症法に基づく届出基準と様式

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01.html>
